



慶應義塾

文科省 産学官連携
2012年 8月 24日

復活日本のための人づくりを目指す
オールラウンドに活躍できる高度人材育成
プログラム

リーディング大学院プログラム 「超成熟社会発展のサイエンス」

教育コンソーシアム

から

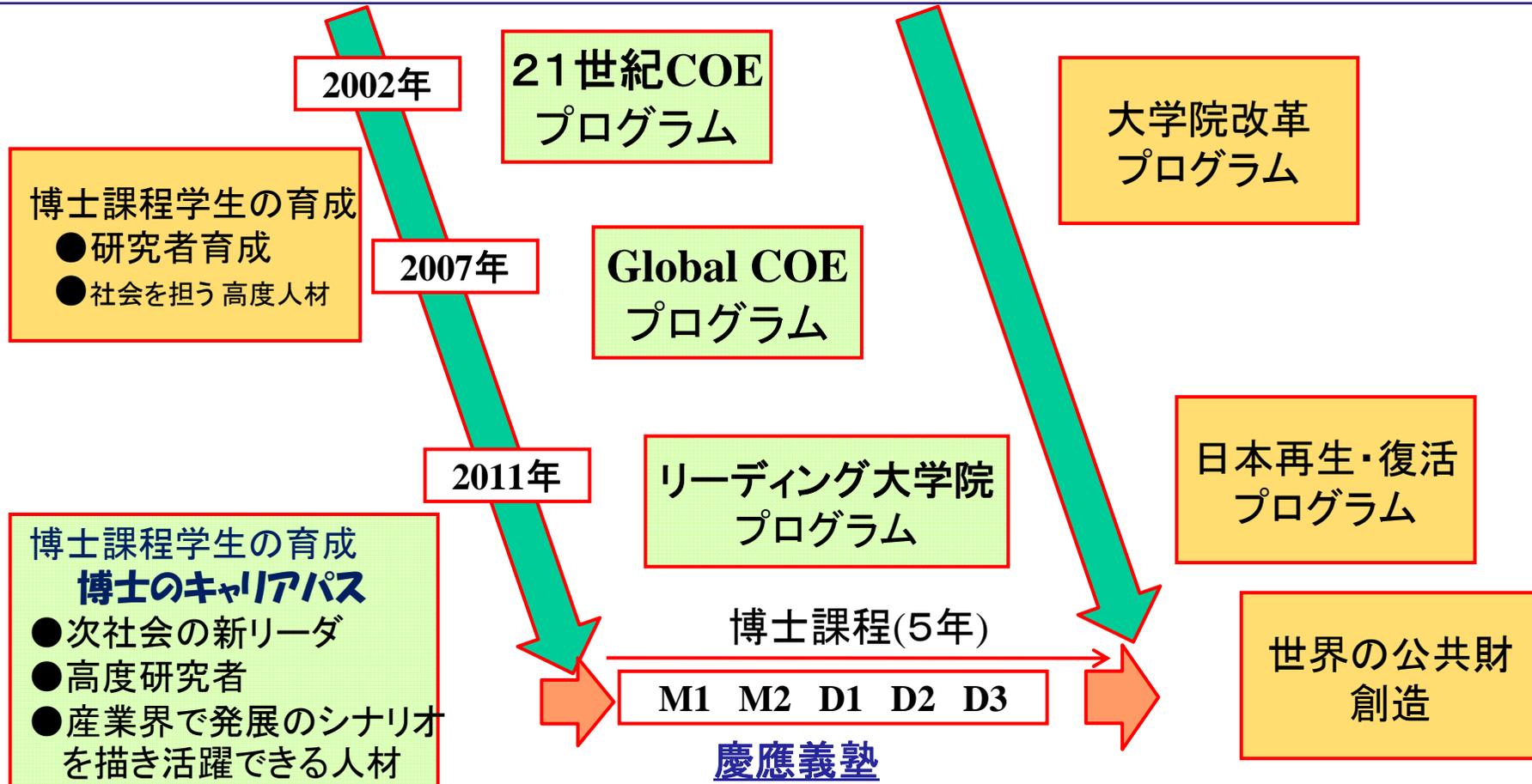
研究コンソーシアム(案)

慶應義塾 常任理事 真壁 利明



次代を担う高度博士人材 -歴史的な役割・使命-

2010 Spring/Makabe



「超成熟社会発展のサイエンス」

地球の持続可能性が問われるなか、「技術・社会創造立国」を牽引する、総合力あるトップ人材を
「大学は人材育成とキャリア形成」で支援し、
「国は制度設定と経済的」に支援し、「産業界は雇用とキャリアパス」で支援しなければならない



今問われるインセンティブ

現役博士課程学生の育成目的

2010 Spring/Makabe

大学は真理の探究と新しい文明の開拓が使命

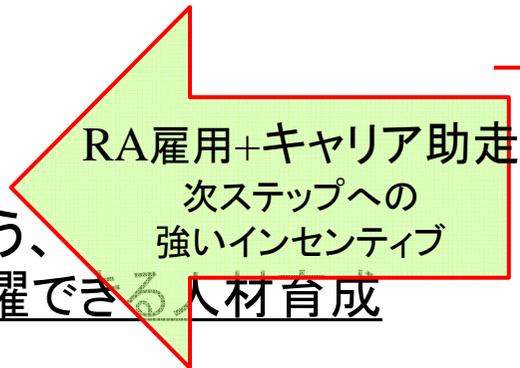
● 従来型の研究大学院

- 優秀な学生を集める
- 個人の優れた研究を支援
→ アカデミア志向の人材育成



● 新しいグローバル高度人材育成

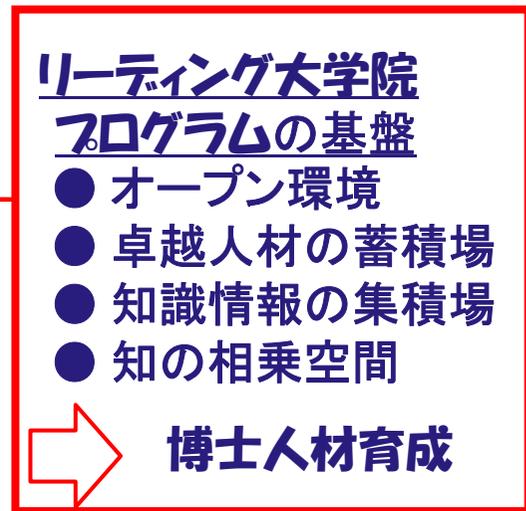
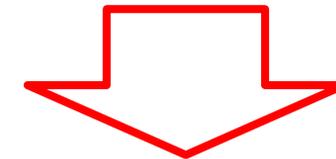
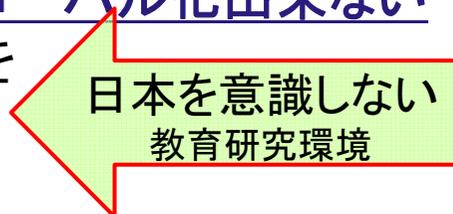
- 卓越した専門スキル育成
- グローバル課題対処能力育成
→ 持続的発展を科学技術で担う、
総合力あるグローバルに活躍できる人材育成
→ 国際舞台でリーダーシップ



◎「超成熟社会発展のサイエンス」→

● 留学生受入れ機関だけでは、グローバル化出来ない

- 教育研究の卓越した国際環境を
自らキャンパスに用意





慶應の全研究科
の入学合格者 3000名

マージする意義は:

学生が申請 競争的に採用

1. FACULTY CLUBの機能
- 多数分野の卓越学者が創る 融合・刺激空間
 - 新たな目覚め、意識改革の場

オールラウンドに活躍できる高度人材育成のための

リーディング大学院プログラム

所属研究科専門の学位

+

L大学院PROG学位

指導教授+副指導教授

3. English COURSE
英語を基本とし国内外
学生の区別なし

2. Global STANDARD
教育研究連携

4. Joint CAREER
キャリアパス連携
人材交換

Professor
Vice-Supervisor

教員32名(専任・兼担)
(+Project教員+海外教員)
学生20名/学年

Program Officer
Project-Professor

クォータ制度

学生交換
海外連携大学院
教員交換

産業界・行政機関
(JPN, USA)

超高齢社会におけるニューリーダ
創造能力+先導性

「高齢化社会」の分析→「超成熟社会発展」の設計シナリオ

選定プログラム例 【オールラウンド型②】

慶應義塾大学大学院 超成熟社会発展のサイエンス
 Science for Development of Super Mature Society, Keio University

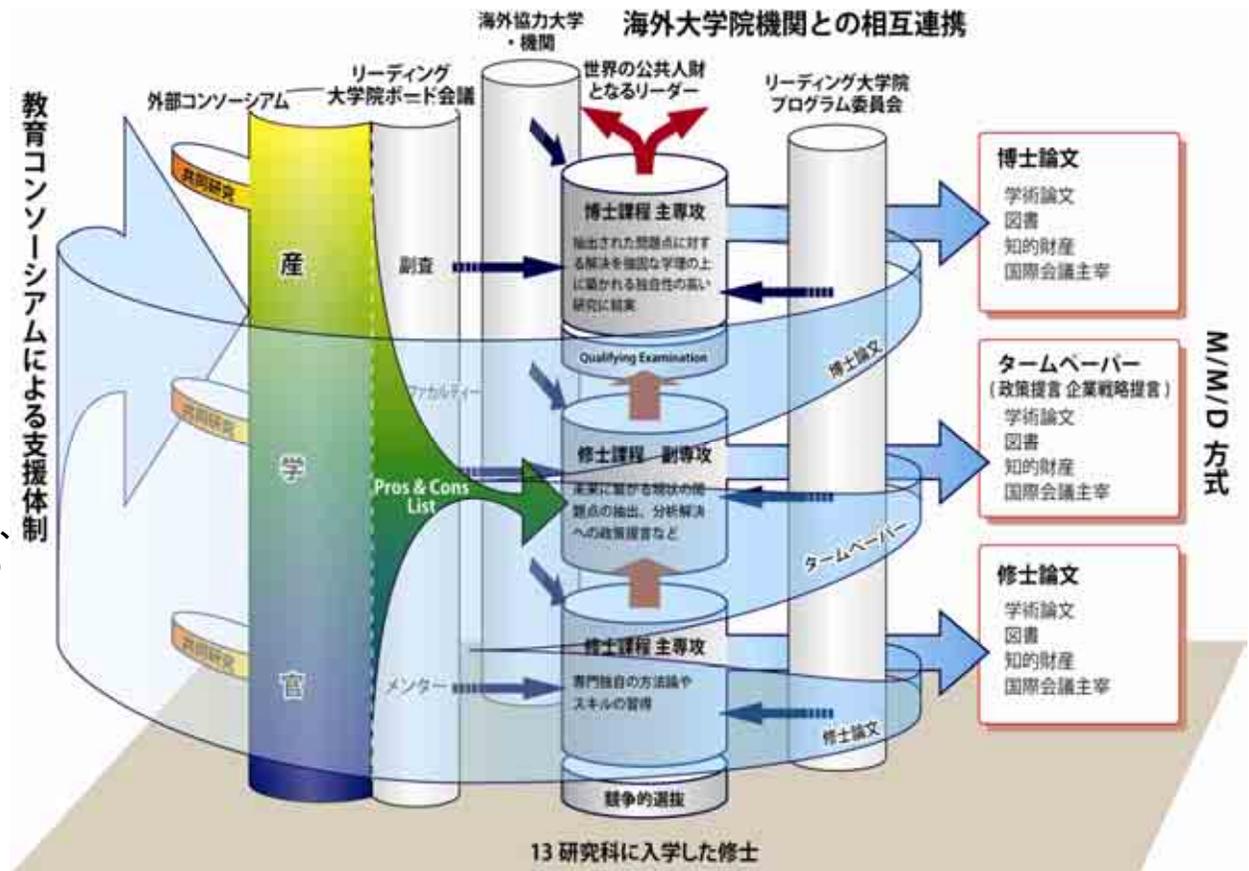
2011.12

■ 養成したい人材像

文理融合環境の下での革新的な教育と研究を両輪に、新しい社会の仕組みを創り、新しい産業を発展させ、国際社会を先導しながら超成熟社会の持続的な発展のシナリオを描き、それを断固として実行できる専門性と周辺総合力をともに備えた骨太のリーダー

■ プログラムの特色

- ① 「超成熟社会発展のサイエンス」プログラム課程に**既存13研究科在籍生が志願し**、修士(専門)/修士(副)/博士(専門)または修士(専門+副専攻相当の履修)/博士(専門)の学位を取得(20名程度/年)
- ② 多数の分野(理工、医、政策・メディア、経済、商など)の教授陣、**海外連携校教授陣**や産業界官界**各方面の有識者が一堂に会し、様々な思考がぶつかり合う「ファカルティ環境」という水飲み場**を用意し、高い資質を持つ学生を育成
- ③ 主専攻で究めた**学術スキル**と副専攻で修得した幅広い**基礎知識**を有機的に融合させるため、**産業界・官界からのメンター**や特任教員と生の**社会課題**を文理融合環境で論じ合い、これをグループで、**チームペーパー形式で政策提言と企業戦略提言**を作成
- ④ 使用言語は**基本的に英語**
- ⑤ リーディング大学院ボード会議を通して、企業や行政からの有資格人材がリーディング大学院プログラム委員会と協働して、**短期・中期計画、審査、評価、展望**などの根幹の運営に参加



リーディング大学院、Joint Degree制度



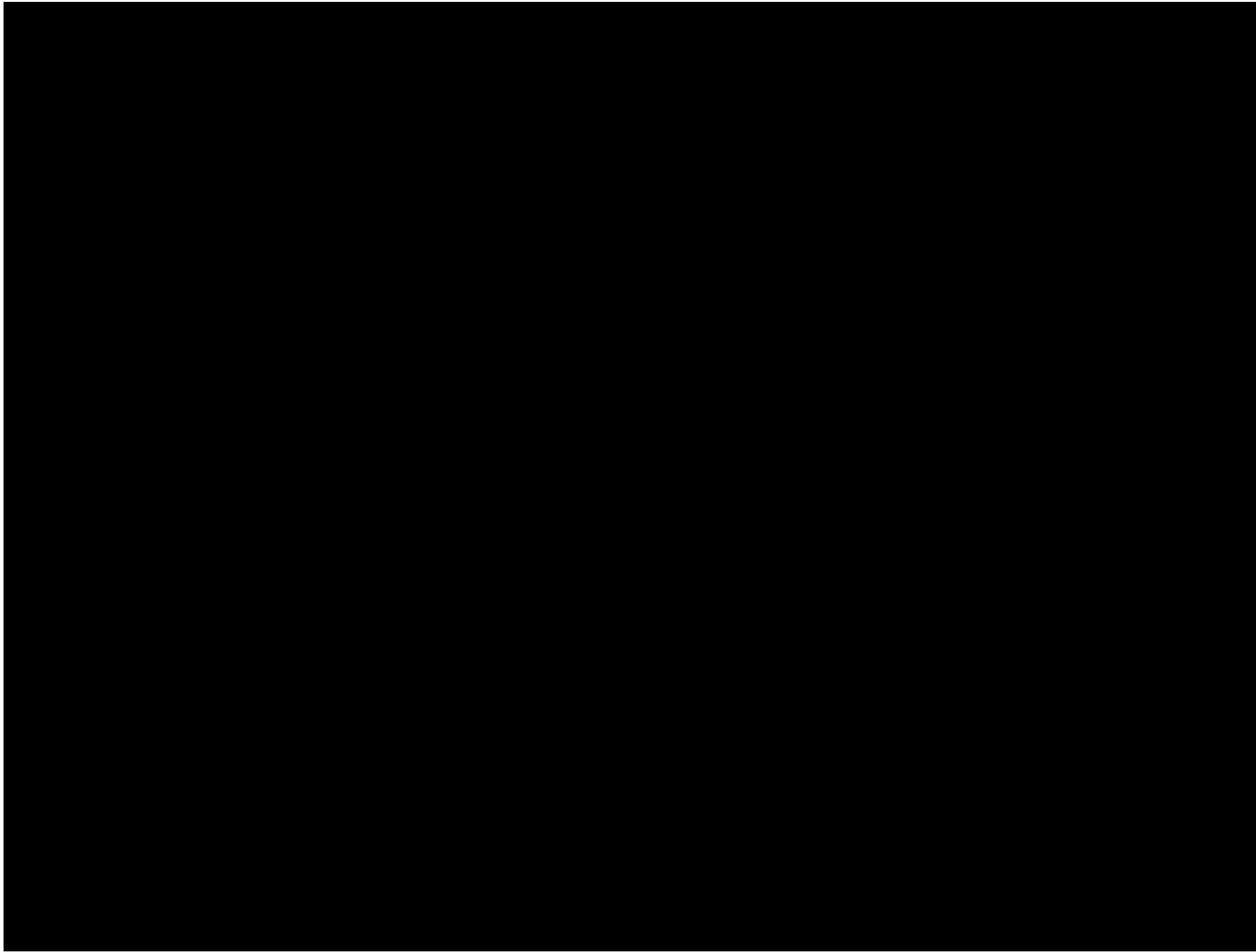
高度博士人材を産学官協同で育成

2012 Aug. 現在

- ボード会議
 - 教育コンソーシアム
 - メンター組織
 - 1. メンターに期待されるキャリア像
 - 2. メンター派遣企業・自治体:
 - 富士ゼロックス
 - 丸紅
 - 日本IBM
 - SONY
 - 高橋弁護士弁理士
 - 川崎市役所
 - 海外から
 - 日立製作所 (2012秋学期から)
 - NTT (2012秋学期から)
 - 新日鉄 (2012後半から)
 - 今後、他の多種業界からご協力いただきたい
 - 大学院学生(RA): 10名(2012春)
 - : ~5名(2012秋)
 - : 15名(2013春)
- 特任教員(教育:非常勤)として任用



プログラム活動紹介 2012春学期





慶應義塾リーディング大学院プログラム(all-round) を支える産官学組織(案)

2012. 8

研究科委員長と
大学院委員会

ステップを踏んで流れを創る

学内
プログラム委員会

LGSボード会議

教育コンソーシアム

C分野 共同研究

B分野 共同研究

LGSプログラム

プログラムコーディネータ

- 塾内Prog委員(専任教員)
- 特任教員(教育)
- 企業メンター
- 海外連携大学教員(専任)

リーディング大学院
開講科目群

各研究室
各ゼミ

J分野 共同研究

各研究室
各ゼミ

A分野 共同研究

参加の産(国内外)・官

研究コンソーシアム
計画中

人材育成を進化させる水飲み場の仕組み

Innovator



有難うございました